

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和6年12月9日 文責:校長 森川 稔



人権集会

12月5日(木)に人権集会を行いました。12月4日～12月10日が人権週間と定められており本校でも毎年この時期に行っています。だれでも生まれながらに持っている人として幸せに生きる権利である「人権」、一見当たり前で空気のような権利ですが、この時期にあらためて自他の命の大切さ、友達(仲間)の大切さ、笑顔でいることの幸せについて考える機会となる集会でした。

参加体験型の人権学習では、全校児童一緒にパズルあわせや風船運びリレーを通して、相手を思いやる言葉かけや協力し合う気持ちなど、学年を超えて子どもたちの優しい面がたくさん見られ、心がほっこりする時間でした。

68名の児童みんな、がかけがえのない大切な存在です。みんな仲良く一人一人の人権が守られて、自分らしく楽しく生活ができる田平東小学校を子どもたちと共につくっていきたいです。



高齢者疑似体験をとおして…

4年生は総合的な学習で福祉について学習をしています。先日は高齢者疑似体験学習を行い、校舎内外で装具を付けて動いていました。活動後にご指導いただいた社会福祉協議会の方とお話をしました。「おもしろそう、どうなるのかな?という興味が強い様子だったのが、体験を通して大変さ、普段とは違う動きづらさから高齢者や障がい者の理解につながったのではないかとおっしゃっていました。教科書や動画などだけではわからない、実際に体験することで学びを深める機会になりました。前述の人権学習とも関わらせて、様々な立場の人と共によりよく生きることに繋がっていきたいと思います。



めざせ、手洗いマスター！

特別支援学級の友達は、自立活動の時間に手洗いの大切さについて養護教諭と一緒に学習しました。普段の生活の中で手を洗う場面を思い出し、それぞれに元気な声で発表していきます。その中でどうして手洗いをするのか、どんなことに気をつければよいかについて考えました。

その後、水で手を洗い、自分の手をブラックライトに当てて汚れの取れ具合をチェックしました。しっかり洗えているつもりでも、結構汚れが残っていることにびっくりしていました。そこで、手指の汚れをしっかり取る洗い方をみんなで確認したあと、今度は石鹼を使ってもう一度手を洗い、汚れが取れていることを確認しました。

毎日の手洗いで清潔さとともに、感染症予防につながることも学ぶことができた時間でした。



4校合同学校保健委員会

11月29日（金）に田平中校区の4校合同で学校保健委員会を行いました。今回は長崎県メディア安全指導員の坂本浩一先生をお招きし、「睡眠教育（みんなく）～ぐっすり眠って元気いっぱい田平っ子～」をテーマにワークショップ型の講演をしていただきました。

講演の中で、保護者の皆様、児童生徒、そして教職員が同じテーブルを囲み、「メディア」や「睡眠」について本音でディスカッションするスタイルは、いろいろな思いや考えが聞かれ、とても有意義な時間となりました。大切なことは、これを学校でどう指導し、各家庭でどう実践していただくかということだと思います。

欲を申せば、もう少し保護者の皆様のご参加があれば、メディアとの向き合い方、普段の生活のしかたについて共有でき、お子さんのよりよい成長につながる事ができたのではないかと思います。

次の機会にはぜひ多くの保護者の皆様のご参加をお願いいたします。会の運営等でご協力いただいたPTA保体部の皆様、ありがとうございました。



田平東小HPはこちらから→

